

令和7年 新春特別講演会

日 時：令和7年1月30日（木）16時00分から17時15分まで
会 場：シェラトン都ホテル大阪 3階「金剛の間」
参 加 者：約50名（ご来賓及び工業会の会員）
講 師：青野 剛暁 氏（株式会社FC大阪常務執行役員 CRO）
演 題：「サッカーのチカラは、世界と大阪を繋ぎ、無限の成長を創造する」



新年賀詞交歓会に先立ち、恒例の新春特別講演会を開催致しました。お忙しい中にもかかわらず、御来賓と工業会の会員から約50名の方にご参加頂きました。

青野氏は、東大阪市出身、近畿大学ご卒業後は、東大阪市議会議員を7年間、大阪府議会議員を10年間、政治家として仕事をされておられました。

政界引退後は民間で何かをしようとアジア、アフリカ、ヨーロッパを訪問しました。どこへ行ってもサッカーというキーワードが出ます。サッカーという世界共通コンテンツで世界と大阪を繋げようと思い、2019年にFC大阪マー

ケティングダイレクターに就任し、現在はFC大阪 常務執行役員 CRO に就かれています。

（ここからはご講演内容を要約して記載致します。）

地球の人口が90億人、サッカーに係る人は40億人、サッカーのマーケットは50兆円あります。日本では野球とサッカーが人気ですが世界的に見ればサッカーが共通の言語です。日本のJリーグは発足から31年になり、現在Jリーグは60クラブあります。Jリーグのライセンスを取らないとJリーグのクラブとして認めてもらえません。全国1600の市町村がありますが、Jリーグは55の自治体にしかありません。大阪にはビッグスポンサークラブのセレッソとガンバがありFC大阪は3番目です。しかしFC大阪でしかできないことがあるはずで

2023年に西アフリカへ行きました。アフリカネーションズカップというサッカーの大きな大会がありました。そこで開催国コートジボアールのサッカー協会の人と繋がりました。是非日本と交流がしたいと3週間後には東大阪まで試合を見に来られました。アフリカには選手の育成や指導のシステムがない、日本がうらやましいと。

次に私がコートジボアールを訪ねると、「日本からJリーグの人が来た」と大歓迎を受けました。是非選手を見て欲しいとサッカースクールに招かれて4チームから若い選手が集まりました。彼らの夢はサッカー選手です。アフリカの子供たちは夢をつかむために世界へ行きたいのです。日本の車は素晴らしいと現地でも日本に憧れがあります。私は選手をスカウトする立場でもその能力もありません。英語も上手ではありませんが、彼らに対して、頑張って夢をつかんで欲しい、と話をしました。サッカーを通じて色々なコミュニケーションが取れるのです。「政治家を辞めてしまえばただの人」という言葉がありますが、私が政治家を辞めて8年、ただの人ではない、辞めてから成長して行ける、キャリアがネクストに生きる、そんな思いで今後もサッカーを通じて活動をして行きたいです。

